

# J P C O A R

## オープンアクセスリポジトリ推進協会

中期ビジョン&中期計画  
2019～2021 年度（案）

### <現状認識—機関リポジトリを取り巻く環境の変化>

オープンアクセスリポジトリ推進協会（JPCOAR）は、2016年の創設以来、世界にも類をみないオープンアクセスリポジトリコミュニティとして成長を続けている。また、JPCOAR は、大学図書館界全体として活動するリポジトリの新しいコミュニティとして、機関リポジトリによる学術文献を中心としたオープンアクセスを進めることで、学術情報流通の改善を行ってきた。今後もそれが基礎であることには変わりはなく、学術雑誌論文のセルフアーカイブ、紀要論文、学位論文の公開という機関リポジトリの基本的な機能のみならず、リポジトリを通じた知の発信システムとして多様な学術成果の発信を進めていく。一方で、リポジトリを取り巻く状況は近年大きく変化している。とりわけ、世界的潮流となっているオープンサイエンスに関して、「第5期科学技術基本計画」では、「オープンサイエンスとは、オープンアクセスと研究データのオープン化（オープンデータ）を含む概念」とした上で、イノベーションを生み出す知の基盤としてのオープンサイエンス推進が謳われている。JPCOAR もその設立趣意書にあるように、学術成果のオープン化に寄与するため、オープンアクセスに関するこれまでの取り組みを土台として、オープンサイエンスの推進に、国内外の団体との連携を密にしながら取り組んでいくことが必要となる。

### <中期ビジョン>

機関リポジトリをめぐる国内外の状況を踏まえ、リポジトリコミュニティとしてのJPCOAR は、国内外の関係する団体、コミュニティと連携し、リポジトリによる知の発信システムを構築し、オープンアクセスのより一層の推進を目指す。会員機関のニーズを踏まえ多様なコンテンツへの対応、コンテンツの価値を高めるリポジトリの機能向上に努めるとともに、研究データにも対応するリポジトリ環境の整備を行っていくことで、オープンサイエンスの推進にも寄与する。また、このめまぐるしく変化する環境に対応し、JPCOAR のコミュニティとしての機能を強化し、会員機関全体の底上げを図るとともに、新しい時代を担う中核的な人材の育成に努めていく。

### <中期計画 2019～2021>

JPCOAR は中期ビジョン実現のため、2019年度から2021年度の3年間においては以下の中期計画をもとに活動を行う。

1. オープンサイエンスの推進に寄与するため、研究データの公開基盤の整備、支援体制の強化を図る。
2. オープンアクセスを推進する学術情報流通のインフラを整備する。

3. オープンアクセスリポジトリを支えるコミュニティとしての機能を強化する。
4. オープンアクセス、オープンサイエンスの推進に対応できる人材育成を行う。
5. 協会活動を促進する安定的な運営の基盤を強化する。

#### <中期計画にもとづく活動>

1. オープンサイエンスの推進に寄与するため、研究データの公開基盤の整備、支援体制の強化を図る。

##### 活 動 計 画

- 1.1 研究データ対応を見据えた国内機関リポジトリの役割、機能要件を明らかにし、研究データ公開基盤を整備する。
- 1.2 国内外の関連機関と連携し、研究データの情報流通を促進するための活動を行う。
- 1.3 研究データの管理・共有・公開を促進するため、研究支援職員の意識、スキルの向上を図り、会員機関における活動を支援する。

2. オープンアクセスを推進する学術情報流通のインフラを整備する。

##### 活 動 計 画

- 2.1 コンテンツの流通、活用を促進するため、次世代リポジトリとしての機能の強化を図り、オープンアクセスを推進し、研究データにも対応する。
- 2.2 多様なコンテンツの流通を支えるメタデータスキーマである JPCOAR スキーマの普及に努め、国際的な相互運用性を確保するために適切な維持管理を行う。
- 2.3 外部データとの連携を支える永続的識別子の活用を促進する。
- 2.4 著作権等のポリシーやライセンスに関する動向を確認し、学協会等への適切な働き掛けを行う。
- 2.5 コンテンツの再利用を可能とするため、著作権者等によるライセンスの付与を促進する。
- 2.6 国立情報学研究所と連携・協力し、JAIRO Cloud を安定的、持続的に運営する。

3. オープンアクセスリポジトリを支えるコミュニティとしての機能を強化する。

##### 活 動 計 画

- 3.1 コミュニティ活動を支援するため、会員相互の情報交換の場を提供する。
- 3.2 国内外の最先端の取組、技術や知見を収集し、会員機関へ提供する。
- 3.3 JAIRO Cloud コミュニティサイト等を通じた、JAIRO Cloud 利用機関へのサポートを行う。また、JAIRO Cloud 移行機関へのサポートも引き続き実施する。
- 3.4 会員機関におけるコンテンツの充実のための取り組みやポリシーの策定など、各機関が主体的に実施する活動について、コミュニティとして情報共有を図る。
- 3.5 会員機関が実施する優れた取り組みへの支援を行い、その成果を協会、会員機関へ還元する。

4. オープンアクセス、オープンサイエンスの推進に対応できる人材育成を行う。
活 動 計 画
4.1 オープンアクセス、オープンサイエンスの推進に対応できる人材に必要な標準的な技能や知識を明確にする。
4.2 オンラインによる学習を含め、新任担当者、研究支援者など様々な対象・レベルの研修の機会の充実を図る。
4.3 作業部会、タスクフォース、海外派遣などの活動を通じて、オープンアクセス、オープンサイエンスを牽引する中核的人材の育成を支援する。

5. 協会活動を促進する安定的な運営の基盤を強化する。
活 動 計 画
5.1 オープンアクセスの推進を図るため、会員機関の拡大を図る。
5.2 人的及び財政的な活動基盤をより強固なものにして行く。
5.3 協会の活動及びその成果を広く発信し、国内外での協会の認知度向上に務め、海外においては特にアジアでの存在感を高める。
5.4 国際的な取組みに積極的に関与するため、オープンアクセス、オープンサイエンスを推進している国際的なコミュニティやイニシアティブとの連携を進める。
5.5 リポジトリを活用したオープンアクセス及びオープンサイエンスを推進するため、関連する国内の機関や組織等と適切に連携を行っていく。